

ベガサス分団活動 『海の恵みと谷戸の恵み』～秋の慈恩寺台地～

令和元年10月6日(日)
さいたま支部ベガサス分団

岩槻区慈恩寺は、さいたま市北東部、蓮田市・白岡市・春日部市と境を接します。東を元荒川が南北に流れ、川に沿った台地の上を日光御成街道(鎌倉街道中道)が通る交通の要衝です。台地は東側に向かってなだらかに下がっており、小さな谷が深く切れ込んで谷戸をつくっています。人々は谷戸の湧水を利用して水田をつくり、台地の縁に住みました。

約800年前まで、元荒川や古利根川が大きく蛇行し、慈恩寺台地の南側に大河となって流れていたこともありました。当時は、隅田川という名で、武蔵国(埼玉県・東京都・神奈川県の一部)と下総国(千葉県北部)の国境となっていました。約1200年前、平安時代の「伊勢物語」にある在原業平の歌「名にしおはば いざ言問わむ 都鳥 わが思ふ人はありやなしやと」は、この隅田川の渡し船で詠んだといわれています。都内に「言問橋」「業平橋」があるのは、このいわれによります。この隅田川の上流が慈恩寺にあり、今も古隅田川として流れています。古隅田川にも「業平橋」があります。

さらに、約8000年前は温暖な気候が続き、埼玉県の奥深く、栗橋や加須の付近まで海が侵入していました。慈恩寺も台地の奥まで海が入り込んでいたようです。台地の上には今も貝塚が多く見られ、多くの人々が海の恵みを受けて暮らしていたことがわかります。慈恩寺南部には春日部市指定史跡の「花積貝塚」があります。

慈恩寺は開発が進んだとはいえ、今も谷戸からは清らかな水が湧き、豊かな自然環境がたくさん生き物を育んでいます。今回は、この谷戸の恵みを受けた慈恩寺で、秋の生き物観察をしたいと思います。

1 期日 令和元年10月6日(日)

↑↑↑ 悪天候、交通事情の混乱の時は中止します。

↑ 天候などにより、当日になってコースや時間等行程を変更することもあります。

2 集合 東岩槻駅改札付近 午前9時30分

駅でトイレを済ませておいてください。

3 解散 豊春駅解散 午前12時30分頃

4 自然観察ウォーキング 全行程約5.2km

東岩槻駅→花積貝塚→慈恩寺親水公園→古隅田川→豊春駅

★★★今回は距離が長いです。歩きやすい靴や服装をお願いします。

5 持ち物

雨具、セロハンテープ、持っていれば双眼鏡

6 その他

- ・ベガサス分団活動は参加人数を把握して資料を用意する関係上、事前の申し込みをお願いします。
- ・小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします
- ・途中で先に帰る場合は年齢にかかわらず保護者の方の付き添いをお願いいたします。
- ・団体行動です。1人で行動してはいけません。1人のときはリーダーに行ってもらいましょう。
- ・危険なもの、まわりに迷惑をかけやすい物(刃物、ライター、モデルガンなど)は、もってこない。
- ・天候、交通事情、団員の健康状態等で、当日になって予定を変更することもあります。